

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

| 区分 | 資産の種類 | 期首帳簿価額 | 当期増加額 | 当期減少額 | 期末帳簿価額 |
|------|----------|-------------|---------|-----------|-------------|
| 基本財産 | 定期預金 | 88,450,000 | | 8,400,000 | 80,050,000 |
| | 有価証券 | 225,050,000 | | | 225,050,000 |
| | 基本財産計 | 313,500,000 | | 8,400,000 | 305,100,000 |
| 特定資産 | 退職給付引当資産 | 50,781,000 | 423,832 | | 51,204,832 |
| | 特定資産計 | 50,781,000 | 423,832 | | 51,204,832 |

(記載上の留意事項)

- 基本財産及び特定資産について、財務諸表の注記に記載をしている場合には、その旨を記載し、内容の記載を省略することができる。
- 重要な増減がある場合には、その理由、資産の種類 of 具体的な内容及び金額の脚注をするものとする。

2. 引当金の明細

(単位：円)

| 科目 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | | 期末残高 |
|---------|------------|---------|-------|-----|------------|
| | | | 目的使用 | その他 | |
| 退職給付引当金 | 50,781,000 | 423,832 | | | 51,204,832 |

(記載上の留意事項)

- 期首又は期末のいずれかに残高がある場合にのみ作成する。
- 当期増加額と当期減少額は相殺せずに、それぞれ総額で記載する。
- 「当期減少額」欄のうち、「その他」の欄には、目的使用以外の理由による減少額を記載し、その理由を脚注する。
- 引当金について、財務諸表の注記において記載している場合には、その旨を記載し、内容の記載を省略することができる。